

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年10月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: UC Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月31日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:      2学期:      3学期:      4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	6,840	889,200 円	12 単位
宿舍費	4,980	647,400 円	lhouse
食費		円	
図書費	111	14,430 円	Study.Net
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	10	1,300 円	薬代
保険費		45,495 円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費		280,420 円	JAL
ビザ申請費	160	円	
雑費		円	
その他		310,000 円	アメリカ国内の旅行費
その他		円	
合計		2,188,245 円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
往路 出発地:成田 目的地:サンフランシスコ 経由地: 復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:羽田 経由地:
<b>渡航費用</b>
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:280,420 円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL) <input type="checkbox"/> その他( )

## 滞在形態関連

<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2)部屋の形態</b>
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数1)
<b>3)共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4)住居を探した方法:</b>
留学報告書を参考にした
<b>5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
新しいわけではないが、清潔感がある寮だと感じた

## 現地情報

<b>1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: )
<b>2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: )
<b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?</b>
大学からのメールを受けとっていた。
<b>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>
寮・大学の Wi-Fi は基本的に安定していた。ソフトバンクの携帯を使っていたのでアメリカ国内での通話、ネットは無料で利用できた。
<b>5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>
親に日本の銀行口座にお金を入れてもらい、クレジットカードを利用していた。
<b>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。</b>
常備薬、洗濯ネットなど
<b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</b>
渡航前にクレジットカードで支払った。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 12単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	Session A	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 140 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	マーケティングに関して基礎から学ぶ。ケーススタディを採り入れており、ディスカッションやグループワークの機会が多かった。	
試験・課題など	期末試験(選択式)、グループプレゼン、レポート課題	
感想を自由記入	教授の英語は聞き取りやすく、留学生にも配慮してくれており、授業内容も理解しやすかった。とても良い授業だったと感じる。講義内容は基本的なものであったが、ケーススタディはとてもためになった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Advertising Strategy		広告戦略
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	Session A	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が3回	
担当教授	Bill Fanning	
授業内容	広告戦略について実際の CM を見ながら学んだ。基礎的な内容から応用的な内容まで幅広く扱う。	
試験・課題など	中間試験、期末試験、グループプレゼン 2 回、レポート課題	
感想を自由記入	企業の実際の方がゲストスピーカーとして来校されてお話を下さる機会や、その企業の方々にプレゼンテーションをすることもあり、とても良い機会となった。また、理論に関連した CM を毎回流され、それについて話し合うこともあり、他の国の人の意見を聞くことはとても興味深かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Social Psychology		社会心理学
科目設置学部・研究科	Psychology	
履修期間	Session D	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が3回	
担当教授	Sara Gorchoff	
授業内容	心理学の基礎知識について学んでいく。	
試験・課題など	中間試験 2 回、期末試験 、RPP、レポート課題	
感想を自由記入	途中から教授がコロナウイルスに感染し、授業はオンラインとなった。内容は日常生活に直接関わってくるものであり、答えがないような問題についても扱った。テストの内容はと言うと、教科書から出されるものもあるが、基本的な社会心理学のセオリーを理解していないと解けない問題が多く、しっかりと勉強していないと高得点は取れないだろう。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
English thru film		
科目設置学部・研究科		
履修期間	Session D	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション、グループワーク (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が2回	
担当教授	Janet Christensen	
授業内容	映画を題材として英語を学んでいく。基本は映画を見て、その内容や感じたことを学生同士で話し合うという形で授業は進んでいく。	
試験・課題など	出席:25% レポート:25% フィールドワーク:25% 期末課題:25%	
感想を自由記入	アジア人の留学生がメインで、残りはフランス人であり、現地生は 1 人もいなかった。少人数のクラスなので比較的友達は作りやすいと感じる。宿題として映画を見てくることを要求されるのだが、その内容は興味深く、全く苦ではなかった。映画の内容をもとに授業が進んでいくので事前に映画を見ないといけない。また、最終課題としてドキュメンタリーを自分で作ることとなる。	

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は自分のやりたいことが定まりました。自分を見つめ直すにはいい機会だと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	航空券購入、ビザ申請、寮の確保など
	4月～7月	5月 渡米
	8月～9月	9月 帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学の理由としては大きく二つあります。

一つ目は視野を広げ、自分に自信をつけたかったからです。

二つ目は世界でも有数の大学でマーケティングや経営などのビジネスについて学びたかったからです。

一つ目に関して言えば、文化や価値観の違う人々と共に生活することで、視野が広がり自信が得られるのではないかと考えました。正直、最初のうちはつらかったです。慣れない異国での生活や膨大な勉強量、そして周りとの差に悩まされました。しかし時が進むにつれ、友人も徐々に増えていき、生活にも慣れ余裕が感じられるようになり、楽しく生活できるようになりました。

毎日勉強に集中できる環境は貴重でしたし、レベルの高い環境において努力したことは自分の中でとても大切なものになりました。留学期間は短いので無駄にしないためにも一日一日大切に過ごすことが大事だなと感じました。